

事業番号	05 03 02	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■ 点検
事業名	騒音・振動・悪臭対策事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	水大気環境課	
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 1 水・大気環境の保全			E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S47 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	騒音、振動及び臭気に関する測定業務をより的確に行い、測定結果に基づき管理者・設置者に対して改善要望等の申入れを行うとともに、市町村職員の研修会への参加により行政の公害苦情処理能力を高めるなどして、県民が受ける公害の減少を目指す。	
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動及び臭気に関する苦情処理は市町村業務となっていることから、市町村職員の公害苦情処理対応の資質向上を目的として騒音、振動及び臭気に関する研修を開催したところ、平成25年度においては延べ60名の市町村職員が参加した。</li> <li>幹線道路における自動車騒音及び新幹線鉄道騒音の測定を実施したところ、平成25年度の環境基準の達成率は自動車騒音で92.4%(市測定も含む)、新幹線騒音で61.5%であった。これらの結果に基づき、管理者・設置者に対して改善要望等の申入れを行った。</li> </ul>	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施: 実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 環境基本法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村職員の公害苦情処理対応の資質向上を目的とした騒音、振動及び臭気に関する研修への参加を募ることにより、延べ60名の市町村職員が参加する。</li> <li>自動車騒音の測定を実施し、環境基準の達成率を90%とする。</li> <li>新幹線騒音の測定を実施し、13地点中10地点で環境基準を達成する。</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		H27
				(当初)	(決算)	(当初)
		騒音環境基準類型指定事業	直接	環境基準指定の基礎調査	282	262
	北陸新幹線騒音対策事業	直接	新幹線鉄道の騒音振動測定	91	86	671
	自動車騒音常時監視事業	直接委託	自動車騒音の測定 騒音測定結果に基づく面的評価の実施(委託先:中外テクノス(株)中部支社)	1,608	1,536	1,629
	悪臭対策事業	直接	施設調査 講習会の開催	204	188	209
	騒音計・振動計等の管理	直接	機器の購入、修繕 検定の受検	156	148	274
			合計	2,341	2,220	3,065

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況									
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	項目	H25末(実績)	H26			H27目標			
		当初予算	3,693	3,677	2,341	3,065			目標	成果	達成状況				
		補正予算	-788	-326	0	0			市町村職員の研修への参加人数	60名	60名		52名	未達成	—
		合計(A)	2,905	3,351	2,341	3,065			自動車騒音環境基準達成率	92.4%	90.0%		93.3%	達成	90.0%
	Aの財源	一般財源	2,905	3,351	2,341	2,460	新幹線騒音環境基準達成地点数(達成率)	8地点/13地点	10地点/13地点	10地点/14地点	未達成	82.4%			
		県債	0	0	0	0									
		国庫支出金	0	0	0	605									
		その他	0	0	0	0									
	ト	決算額(B)	2,514	3,127	2,220										
概算人件費	職員数(人)	2.20	2.20	2.20	2.20										
	概算人件費(C)	18,168	18,168	18,168	18,168										
	概算事業費(B(A)+C)	20,682	21,295	20,388	21,233										

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村職員の騒音、悪臭施設への監視指導手法のレベルアップ及び公害苦情対応の資質向上を目的とした研修会に延べ52名の市町村職員が参加した。市町村職員の技術の向上等により、研修会への参加を必要とする者が減ったものと考えられる。</li> <li>環境基本法に基づき、自動車騒音及び新幹線鉄道騒音の測定を実施し、新幹線騒音は前年よりも改善したが、目標は未達成となった。</li> <li>新幹線鉄道騒音の未達成理由は、防音壁の高さ不足、レールの削正不備等であり、鉄道事業者にも早急な改善を要請している。</li> </ul>
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害紛争の多様化により市町村の公害事務処理の資質向上を一層図るよう県として支援する。</li> <li>自動車騒音及び新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況を一層改善するため、測定を継続し、評価するとともに必要な対策を道路管理者または鉄道事業者にも要請し、沿道または沿線的生活環境の保全を図る。</li> </ul>